

— 住学協同への実験 —

筑豊ゼミ研究会報 5月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第 32 号 2016 年 5 月 10 日

5 月例会は 5 月 18 日(水)午後 7 時～9 時

[若者研究会:5 月 27 日(金) 飯塚(中心市街地)このままで委員会:5 月 20 日(金)]

受付(市民遺産研究会)は視聴覚教室(4 号館 1 階)で行います。インフォメーション(連絡事項)等を、最初に行いますので、受付後午後 7 時迄視聴覚教室に待機してください。

市民遺産研究会(4401 教室):

1. 遠賀川流域散策の日程とコースの検討
2. 遠賀川流域の自然・文化・歴史に関する資料収集と学習

若者(不登校・ひきこもり・非行)研究会

5 月 27 日(金)午後 7 時～8 時 30 分

自立準備ホーム 紙ひこうき (大日寺512- 8 電話 0948-43-3968)

1. 「仮称 就労(アルバイト)紹介制度」を創設準備の最終的な詰め

古代のロマンに酔う研究会

1. 「古代祭～ヒミコを捜そう～」実行委員会について
2. 遠賀川流域の古代の姿についての学習と情報交換について

飯塚(中心市街地)このままで委員会

5 月 20 日(金)午後 7 時 15 分～ 街なか交流・健康ひろば(東町・玉置跡)

1. 他地域の駐車場対策を検証(久保TM)
2. 学生のNPOやベンチャー・ビジネスの創業支援
3. 旧伊藤邸からの商店街ランチマップなどについて議論していく

情報発信/データデザイン研究会(3 号館 3 階 3304-B:情報工房):

1. ウェブサイトの構成を理解
2. Facebook ページについての準備・調査
3. 地域づくりセンターの構成を議論

第29期筑豊ゼミがスタート!

4月20日、第29期筑豊ゼミ開講式が行われ、住民主体の4つの研究会、学生主体の1つの研究会と、昨年より一つ多い5つの研究会がスタートしました。第29期運営委員会主税事務局長の挨拶、開式の辞に引き続き、荒川剛学部長と小野正行 NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター理事長からご祝辞を頂きました。

各研究会の内容がそれぞれの研究会長から紹介された後、各研究会に分かれて、今後の活動方針等が話し合われました。

第29期筑豊ゼミ開講にあたって

祝辞 近畿大学産業理工学部 学部長 荒川 剛



第29期筑豊ゼミ生の皆様、開講おめでとうございます。

4月の熊本大地震で被災された親族のおられる方々には心よりお悔やみ申し上げます。まさか九州でこのような大きな地震が起きると思いませんでしたが、九州新幹線や九州自動車道も運休や通行止めなどの被害を受け、各方面に大きな影響を及ぼしております。

1日も早い復旧が望まれます。

さて、筑豊ゼミの活動も地元の小中一貫校の設立などを契機に環境教育の一環になればと思い立ち、学生にお願いして設立したビオトープ研究会も今回のゼミにはありません。なかなか若い学生が筑豊ゼミの趣旨を理解して積極的に活動するというのは難しいのかなと考えさせられました。

今年もシリア難民問題、中国経済の低迷、アメリカ大統領選挙など大きなニュースが世界を駆け巡っています。この問題を解決するために主導的な働きをする国はどこかと考えると、中心的役割を果たせる国がないのではと思わせられます。世界の中心がどこにあるのかよくわからないのが実感です。このような混沌とした世界の中で、筑豊に住む我々は、今後どのような活動によって我々の存在を高めていくのか、我々が培ってきた生活、文化や技術の保存・継承をしていくにはどうしたらよいか考える必要があります。また、今年から産業理工学部にもアジアから20人近くの学生が入ってきます。アジア地域の人々と今後どのように連携していくかいろいろ模索しながら、今後新たな研究会の発足を期待しています。

最後になりますが、筑豊ゼミに参加の皆様方の今年1年の活躍をお祈りしまして挨拶にかえたいと思います。



第29期筑豊ゼミ開講おめでとうございます。

筑豊ゼミは、大学は地域に開放すべきだとの理念の基に始まったのですが、以前のような活気が年々無くなってきているのは残念なことです。

今年は、筑豊ゼミをどのようにして活性化し、継続するかを本気で考える必要があると思っております。

また、来年、筑豊ゼミは30年を迎えることとなりますが、30周年記念行事を行うのかどうか、今後、皆さんと議論したいと考えております。

最後に、第29期筑豊ゼミ生の皆さんの研究成果を期待しまして挨拶いたします。

第29期筑豊ゼミが目指すもの



第29期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

第26期から始めた「研究会」活動も3年経ちました。工学的な見地から大名独楽の回転時間を延ばす研究行った独楽研究会では、当初の15分弱から、5分半も延ばして「研究会活動」を終えたことは、寂しい限りですが、筑豊ゼミの研究会活動の一つの成果ともいえます。

第29期、古代のロマンに酔う研究会は、古代史学習の他、地域の人々と一緒に実行委員会による祭りを企画しています。若者研究会及び飯塚(中心市街地)このままで委員会では、それぞれ団体会員として参加し、より多くの人の参加を呼び掛けています。

学生主体の研究会 情報発信/データデザイン研究会(pdd 研)の活動も定着してきました。さらに、より多くの近畿大学の教員並びに学生が参加する「研究会」の創設を目指していきます。

注)筑豊ゼミホームページ(<http://chikuzemi.com/>)に独楽研究会活動3年間のまとめがアップされています。

第29期「筑豊ゼミ」の概要

1. 場 所 飯塚市柏の森11-6 近畿大学産業理工学部
2. 期 間 平成28年4月～平成29年3月
3. 会 費 正会員 5,000円(年間) 学生会員 500円(卒業まで)
4. 研究会

- ・「筑豊ゼミ・市民遺産研究会」 会長 白神精一 顧問 長弘雄次
- ・「筑豊ゼミ・ひきこもり研究会」 会長 野田隆喜
- ・「古代のロマンに酔う研究会～ヒミコを捜そう～」 会長 藤江文雄
- ・「飯塚(中心市街地)このままで委員会」 委員長 縄田 真照
- ・「情報発信/データデザイン研究会」 会長 飯田貴之 アドバイザー 戒田高康先生



白神市民遺産研究会長



野田若者研究会長



藤江古代ロマン研究会長



縄田このままで委員会長



飯田pdd研究会長

5. 新たな「研究会」を募集

皆さんの思いを実現する「研究会」を創ってみませんか。

運営委員長 菊川 清、および 事務局長 主税洋三 が 何時でもご相談に応じます。

(運営委員長、事務局長の携帯番号およびe-mail アドレスは末尾に記載しています。)

筑豊ゼミ・研究会報告

市民遺産研究会

会長 白神 精一

市民遺産研究会は、今年度も遠賀川の流域の歴史・文化を楽しみながら散策をしていく予定にしております。遠賀川本流も入れて、本流、支流合わせて75の川でなっていますが、これは国土交通省が認めた河川だけです、例えば飯塚市の建立寺川の支流の大日寺川は含まれていません、まだ調べていませんが福岡県管轄下の河川ではないかと考えられます。

まずは、嘉飯地区の河川の周りを散策し行こうと考えております。朝晩、散策していると色々な植物、鳥、魚が四季折々に見られます。歴史的に見れば、古代ロマン・・・研究会のおおとも遠賀川です、日本を繁栄させた石炭も遠賀川あつての事です。

東大寺の大仏も香春岳の銅で、僧侶たちの食を満たしたのも碓井から積み出された筑前米も遠賀川を下って行ったのです。

そんなことを思いながら遠賀川周囲をみんなで楽しみながら6月からレポートを載せられたと・・・頑張っていきます。

若者(不登校・ひきこもり・非行)研究会

研究会長 野田 隆喜

定例会：その都度案内 場所：自立準備ホーム 紙ひこうき

(大日寺512- 8 電話0948-43-3968)

本年度は5人での出発・・・3年目で最大人数

2年間の学びより 具体的な提言のひとつとして「仮称 就労(アルバイト)紹介制度」を創設準備

今月の会合で最終詰めをする

古代のロマンに酔う研究会 ～ヒミコを捜そう～ 会長 藤江 文雄

活動方針

開講式当日、当分科会に参加したメンバーは3名でした。昨年度に引き続き飯塚を中心とする遠賀川流域の古代の文化を探り、座学だけでなく地域の市民を中心に「古代祭～ヒミコを捜そう～」を平成28年度8月に実施する計画を提示しました。

結論は、計画に沿うような祭を当分科会では担いきれないので、祭については実行委員会を立ち上げて進めていくべきだ、ということになりました。

当分科会は主に遠賀川流域の古代の姿についての学習と情報交換の場とする事を確認しました。その結果、ゼミの会員だけでなく一般の方々からも広く実行委員会のメンバーを募っていきます。 広く皆さん方のご参加をお待ちしています。

飯塚（中心市街地）このままで委員会

～飯塚のまちについて何でも語ろう～

委員長 縄田 真照

29期第1回定例会：4月11日（火）場所：「街なか交流・健康ひろば」（東町・玉置跡）

出席者8名

●「飯塚市本町商店街空き店舗対策・企業支援事業」のアンケート結果報告書（別紙）

本町商店街周辺の住民にアンケートを郵送して、約100名の回答を得たもの

① 駐車料金の見直し・駐車場の整備と拡充

「駐車場が少ない」「無料駐車場が欲しい」「駐車料金が高い」など、移動手段に関する自由回答がかなりあった。

② お年寄りから若者までの幅広い年代層が集う事が出来る場所

「おしゃれなカフェ」「雑貨店」「スポーツ施設」といった若者や子どもが行けるような場所に関する自由回答がかなりあった。

・各団体で飯塚を盛り上げようとしている人達がいるので、話し合い、連携し合えばいいのではないかな。

・3,000円以上のお買物で、200円分の無料駐車場券をもらえるシステムを知らない人が多いのでは？ →商店街で何度か買物している人は知っている。

・ディスカウントスーパーとの違いを明確にアピールしなくてはいけない。「駐車場が少ない、無料でない」と言われているうちは、専門性をアピール出来ていないと思う。

問い合わせ先：縄田真照 TEL 0948-22-0684（履物の縄田）FAX 0948-22-0970

e-mail: m-nawata@blue.ocn.ne.jp

活動方針

情報発信/データデザイン研究会(pdd 研)は、近畿大学産業理工学部の学生が、ホームページなどの情報発信媒体を通じて筑豊地域の活性化を図る目的として平成 26 年に作られた組織です。主な研究内容は、どうすれば筑豊地域の方々に興味を持っていただけるようなホームページを作れるか、どうすればより効果的に筑豊の良い所を知ってもらえるか、それらを学生がこれまでに得た知識を活用し、実際に形にすることをしています。特に5月の活動計画として、以下の点を中心に活動を行う。活動日は当面、毎週金曜日 18 時~情報工房で行う。

・当研究会サーバの管理

現在、当研究会が借りている筑豊ゼミのサーバの構成を研究会会員が把握し、構成の再構成の必要性を検討し、後継する会員のためにマニュアルを作成しておき、今後の活動を円滑に進められるようにする。

・Facebook への投稿に関する活動

前回の運営委員会にて「Facebook の筑豊ゼミのグループに筑豊ゼミの各研究会会員が投稿できるようにしてほしい」というご意見を頂いたので、それに向けた活動を行っていく。まず、pdd 研内で Facebook のグループに関して情報を収集し研究会でマニュアル等の作成をする。

・筑豊地域づくりセンターのウェブサイトの改良

筑豊ゼミのウェブサイトを WordPress を用いて運営しているため、保守・管理の統一を図るべく今期では筑豊地域づくりセンターのウェブサイトも再構築する計画である。まず、今月はウェブサイトの設計やデザインなどについて検討し活動を行う予定である。

筑豊地区の石炭関連博物館、記念館の紹介

田川市石炭・歴史博物館: 世界記憶遺産「山本作兵衛コレクション」に加えて、石炭関連遺産を幅広く収蔵・展示している筑豊を代表する博物館 (<http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/sekitan/>)

住所: 田川市大字伊田 2734 番地 1 電話: 0947-44-5745

直方市石炭記念館: 筑豊の炭鉱が閉山によって少なくなった昭和 46 年 7 月、「炭鉱の歴史」を後世に伝えるため、誕生しました。 (<http://yumenity.jp/sekitan/index.html>)

住所: 直方市大字直方 692-4 電話: 0949-25-2243

宮若市石炭記念館: ① 貝島炭鉱の創業から閉山まで、② 特筆すべき(貝島)私学の記録、③ 貝島を支えた労働者の記録」を柱として、貝島私学発祥の地(旧大之浦小学校跡)に開設されました。

<http://www.city.miyawaka.lg.jp/hp/page000000700/hpg000000614.htm>

<http://fuji.pro.tok2.com/sekitan1.html>

住所: 宮若市上大隈573 電話: 0949-32-0404

鞍手町石炭資料展示場(鞍手町歴史民俗博物館の施設): 石炭文化を伝える実物大の資料を展示した体験型展示場。 http://www.town.kurate.lg.jp/sisetu/map_sekitan.html

住所: 鞍手町大字小牧 2097 番地 電話: 0949-42-3200

情報交差点

筑豊ゼミ：<http://www.chikuzemi.com/>

e-mail：chair@chikuzemi.com(運営委員長)

：sec@chikuzemi.com(事務局長)

筑豊地域づくりセンター：<http://www.chikuhou-jugaku.org/>

筑豊ゼミホームページ(<http://www.chikuzemi.com/>)のイベントカレンダーもご覧ください

直方谷尾美術館・直方市石炭記念館 石炭の時代展

<http://yumenity.jp/tanio/>：遅くなりましたが、まだまだ興味あるイベントがあります。

会期：4月5日(火)～6月19日(日)

会場①：直方谷尾美術館 会場②：直方市石炭記念館

両会場共通：9:30～17:30(入館は17:00まで)一般100円、高大生50円、中学生以下無料

会場①と会場②の共通チケットが120円で販売されます。

◎体験してみよう！石炭燃焼体験(会場②：直方市石炭記念館)

開催日 5月15日(日) 6月12日(日)いずれも13:00～14:00 雨天中止

熱さや匂い、五感で石炭にふれてみませんか。

解説 八尋孝司(直方市石炭記念館館長) 料金 入館料のみ必要

◎トークイベント② 青春それは炭鉱(会場①：直方谷尾美術館)(トークイベント①は開催済み)

5月28日(土)13:30～14:00：炭鉱で働いた経験を持つ麻生浩平さんから、

自らが描いた記録画や、ご自身で撮った写真をもとに、当時のことをお話していただきます。

話し手 麻生浩平さん 聞き手 八尋孝司(直方市石炭記念館館長)

◎トークイベント③ 美術館 石炭記念館観覧ツアー(会場①の展示を見た後、徒歩で会場②に移動)

6月5日(日) 13:30～15:00 雨天決行

本展覧会を企画した美術館学芸員と、ユニークで分かりやすいガイドで評判の直方市石炭記念館の館長が、美術館と石炭記念館をご案内します。お話をしながら、徒歩で移動します。

第6回 いいづかまちゼミ ～得する街のゼミナール～

日時：5月9日(月)～6月19日(日) 開催場所：飯塚市中心商店街界隈の参加店

まちゼミとは、お店の店主やスタッフが講師役となって、お客様に役立つ専門知識や技術を無料で教えるものです。ゼミといっても内容は簡単なものばかりですので、お気軽にご参加下さい！

詳しくは参加店や商店街各所に置いているチラシをご覧ください。

お問い合わせは(株)まちづくり飯塚 TEL0948-29-8221

第5回 青空フェスタ ～みんなでつながろう～

日時:5月14日(土)・15日(日) 午前9:00～午後4時 <http://www.e-kama.net/event/>

場所:山田生涯学習館及び交流広場

☆ギャラリー&交流広場☆

Twinkle Cat's、山田中学校吹奏楽部、嘉麻市文化協会サークル、山田中学校ミルメーク

☆生涯学習館内展示☆

筑豊学園、つばさ学園、嘉麻市文化協会サークル、布の絵本サークルとまと(山田図書館内)

☆体験(一部有料)☆

習字体験、染物体験、小物作り、グラスリッツェン、フラワーアレンジメント(限定10組)※15日(土)限定!竹とんぼ作り

第32回飯塚国際車いすテニス大会 JAPAN OPEN 2016

日時:5月17日(火)～22日(日) <http://www.kankou-iizuka.jp/events/167>

【メイン会場】

・筑豊ハイツテニスコート 〒820-0115 福岡県飯塚市仁保 8-30 TEL:0948-82-0240

・筑豊緑地テニスコート 〒820-0115 福岡県飯塚市仁保 8-25 TEL:0948-82-1023

国際テニス連盟(ITF)から全米オープンなど世界四大大会に次ぐスーパーシリーズ(SS)に格付けされているアジア最高峰の車いすテニス大会です。

身体障害者間のスポーツの交流、相互理解を深めるための意義のある国際交流の場となっています。すべてがボランティアによって運営されています。

【お問合せ】飯塚国際車いすテニス大会事務局 TEL 0948-25-7144

第69回 いづか商店街ツアー参加者募集

日時:5月24日(火)13時～15時 開催場所:飯塚商店街界隈

参加費:無料 募集人数:10名(申込み多数の場合は抽選)

「お店は知っているけど入ったことがない」「知らない店には一人じゃ入りにくい」など、行ってみたい店はあるけど、きっかけがなくてそのままになっていませんか? 商店街ツアーに参加すればみんなで行くので、気兼ねなくお店を見て回れます。今回も街なか案内人のガイドで、6店舗をご案内します。お気軽にご参加下さい。

お申込み・お問い合わせ 飯塚商工会議所 TEL 0948-22-1007

第3回 英彦山ウォーキング

日時:5月22日(日) 10時出発 集合場所:ひこさん花工房 集合時間:9時30分

コース:ひこさん花工房～三ヶ月池～英彦山神宮～紅葉谷～バードライン入口～かれ沢～スキー場～野営場～ひこさん花工房 参加費無料・弁当持参・雨天中止

http://www.soeda-kankou.com/download/hikosan_walk.pdf

似顔絵1万人達成記念 植木好正+コレクションコラボ展

日時:5月24日(火)～7月3日(日) 9:30～17:30(入館は17:00まで)

開催場所:田川市美術館(〒825-0016 福岡県田川市新町 11-56 0947-42-6161)

地元作家と美術館コレクションをあわせてご紹介するコラボ展。1万人を目指して似顔絵を描き続ける田川市の画家・植木好正氏の作品と人物をモチーフにした作品をあわせて展示します。

<http://tagawa-art.jp/>

松田えり子作品展 もじり織-光と風を感じて-

日時:5月31日(火)～6月12日(日) 9:30～17:30(入館は17:00まで)

開催場所:田川市美術館(〒825-0016 福岡県田川市新町 11-56 0947-42-6161)

南米グアテマラの山中の村で織物に出会って40年。郷里の田川で初めての個展。

<http://mt.creative-j.jp/spots/wp-content/uploads/sites/2/2016/04/mojiriori.pdf>

第35回飯塚新人音楽コンクール(本選)

日時:6月5日(日) <http://www.iizuka-bunren.com/shinoncon/>

開催会場:飯塚コスモスコモン 〒820-0041 福岡県飯塚市飯塚 14-66

遠賀川筋の人情と、音楽土壌に恵まれた福岡県の中心のまち飯塚で始めたこのコンクールは、心温かいきめ細やかな運営と、ハイレベルの内容をモットーに、秀れた新進演奏家の発掘育成と、地域音楽文化の充実を目指していきます。(予選は5月3日・4日・5日に行われました。)

発行: NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第29期筑豊ゼミ

責任者: 第29期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

編集者: 第29期筑豊ゼミ運営委員会事務局長 主税 洋三

住所: 〒820-8555 飯塚市柏の森 11-6 近畿大学産業理工学部気付 第29期筑豊ゼミ

連絡先: 090-9485-5985 (運営委員長 菊川) 090-8624-2886 (事務局長 主税)

e-mail: chair@chikuzemi.com (運営委員長) sec@chikuzemi.com (事務局長)